

# shindaiwa

## 取扱説明書

### エンジン投光機

SLH222EG

SLH432EG

SL222DG

SL432DG

目次	項
1. 安全上の注意	2
2. 仕様	5
3. 各部の名称	6
4. 発電機搭載方法	8
4-1. 発電機の搭載	8
4-2. 電源ケーブルの接続	10
5. 操作方法	11
5-1. ハンドル操作	11
5-2. 車輪ブレーキ操作	11
5-3. アウトリガー操作	12
5-4. 灯具および灯具台の操作	13
5-5. マストの昇降操作	16
6. 運転方法	17
6-1. 点灯	17
6-2. 消灯	18
7. ランプの交換方法	19
8. ブレーキの角度調整	21
9. 点検・整備	22
10. 長期保管	26
11. 故障時の対応	27

**▲注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。**

## はじめに

このたびは、新ダイワのエンジン投光機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付してください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

◆**危険** : 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

▲**注意** : 取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合  
および物的損害が発生する可能性がある場合。

<**注意**> : 本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 「▲**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 1. 安全上の注意

### ⚠危険：転倒

- 強風で灯具ランプが大きく揺れる場合は、マストを下げて使用してください。
- 風速 15 m/s 以上（電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）では、絶対に使用しないでください。
- 傾斜地や地盤の軟弱な場所での使用は行わないでください。  
地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。
- 移動防止のため、必ず車輪ブレーキを掛けて使用してください。  
同時に車輪止めも行ってください。
- アウトリガーを装備している機種は、アウトリガーで本機を固定してください。  
この時、本機が水平になるよう調整してください。
- 移動・運搬時は、必ずマストを最低位置まで下げてください。
- 車両運搬時は、必ず車輪ブレーキを掛け、ロープなどで確実に固定してください。
- 本機を吊り上げる時は、必ず吊り金具を使用してください。

### ⚠危険：感電

- 運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- ランプなど点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

### ⚠注意：けが

- マストの昇降時は、マスト、ウインチドラム、ワイヤに触れないでください。
- 灯具台の旋回で、旋回ハンドルをゆるめるときは、必ず灯具台または灯具脚を片手で支えてください。
- アウトリガーの設置と収納は、必ずアウトリガーを片手で支えて行ってください。
- ランプを必要以上の力で締め付けしないでください。破損することがあります。

### ⚠注意：やけど

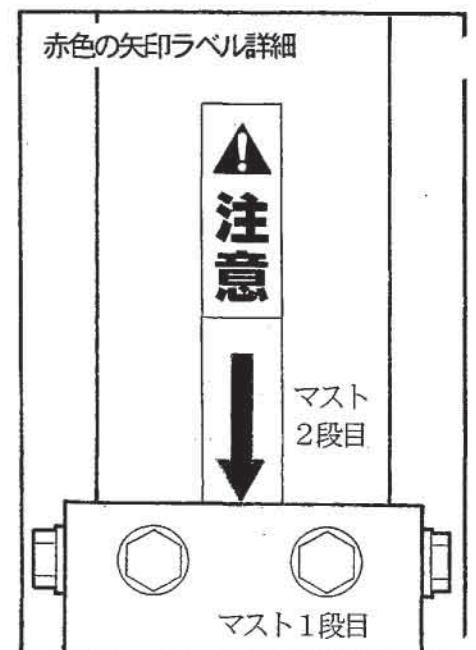
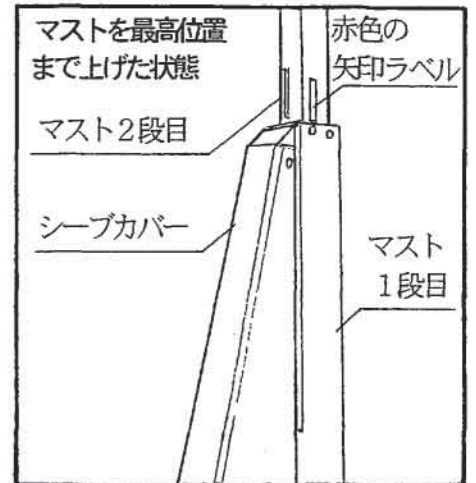
- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。

### ⚠注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。

## <注意>

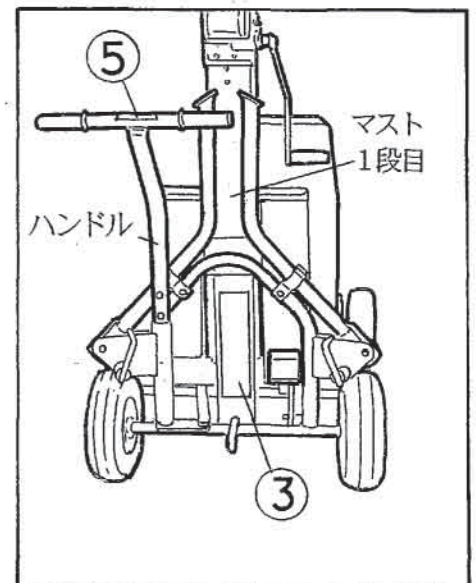
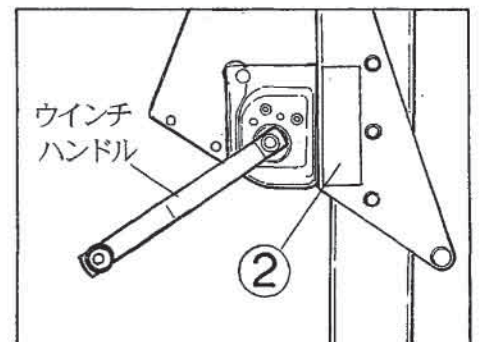
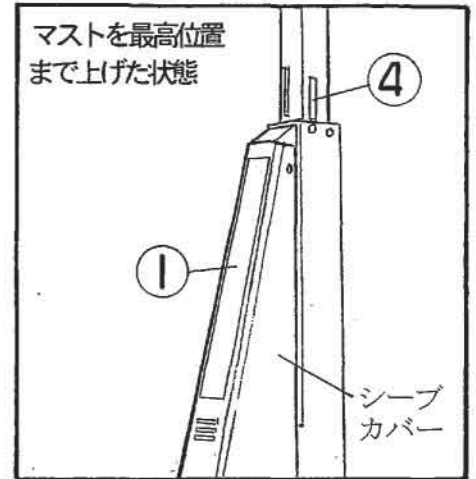
- マストが最高位置にくるとウインチハンドルの回転が重くなりますので、それ以上無理な力を加えないでください。赤色の矢印ラベルが見える位置が、最高位置です。(右図参照)  
無理に回すとウインチ、ワイヤ、滑車部の故障や破損の原因となります。
- 灯具にショックを与えないでください。ランプや灯具が破損します。
- ランプ消灯後に再点灯させるときは、約15分間待ち、ランプの温度が下がってからスイッチ（ブレーカー）を入れてください。すぐにスイッチ（ブレーカー）を入れると、本機が故障する原因となります。
- 本機を牽引する場合は、必ず台車の牽引フックを使用してください。  
その他の部分を牽引に使用しないでください。  
変形・破損の原因となります。
- ウインチドラムの側面にあるリングギヤの歯にグリスを塗ってください。  
グリスが切れるとウインチの寿命が低下します。
- 車両運搬時は、ハンドルへのロープ掛けはしないでください。  
ハンドル破損の原因になります。
- タイヤの空気圧は、 $2.0\sim 2.5\text{kgf/cm}^2$  に設定してください。  
空気圧が低いとブレーキの効きが悪くなり危険です。



## ■警告ラベル貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は、( ) 内の品番で注文してください。

- ①スマートマスト(名称)・危険・注意文  
(品番 : 57550-11110)
- ②ウインチハンドル回転方向・危険文  
(品番 : 57550-11120)
- ③ブレーキ操作・アウトリガー格納方法  
(品番 : 57550-11130)
- ④注意・→ (矢印)  
(品番 : 57550-11140)
- ⑤ロープ掛け禁止  
(品番 : 57550-11150)

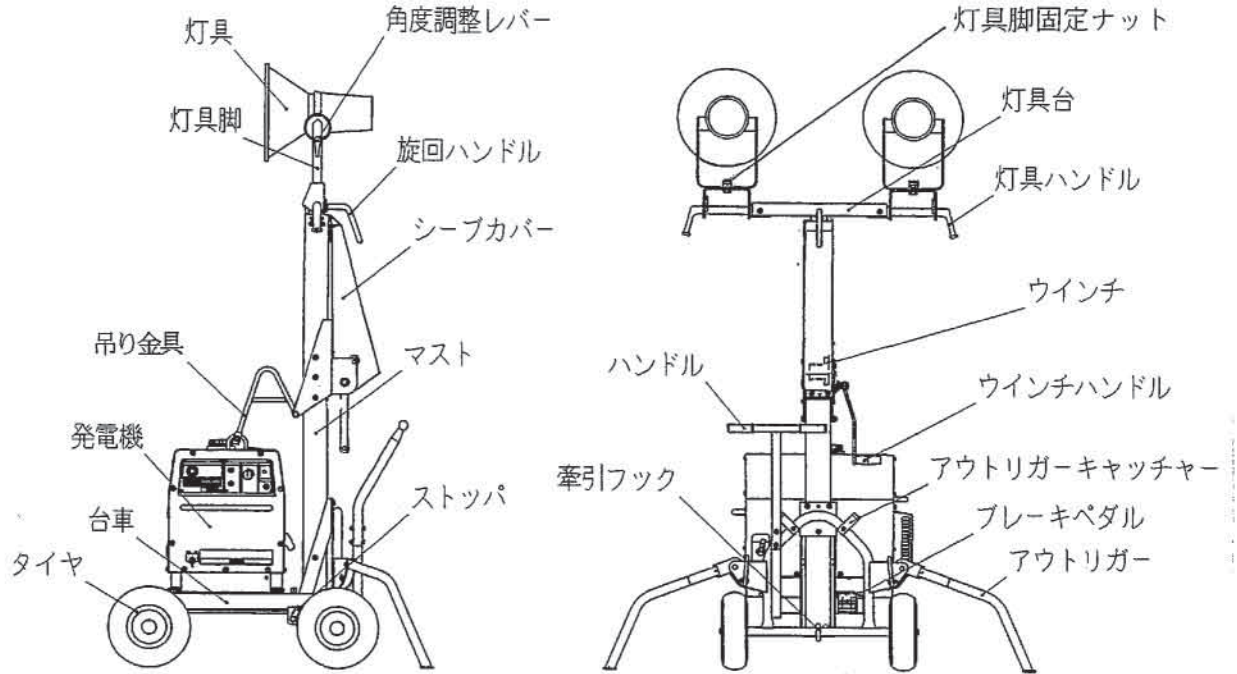


## 2. 仕 様

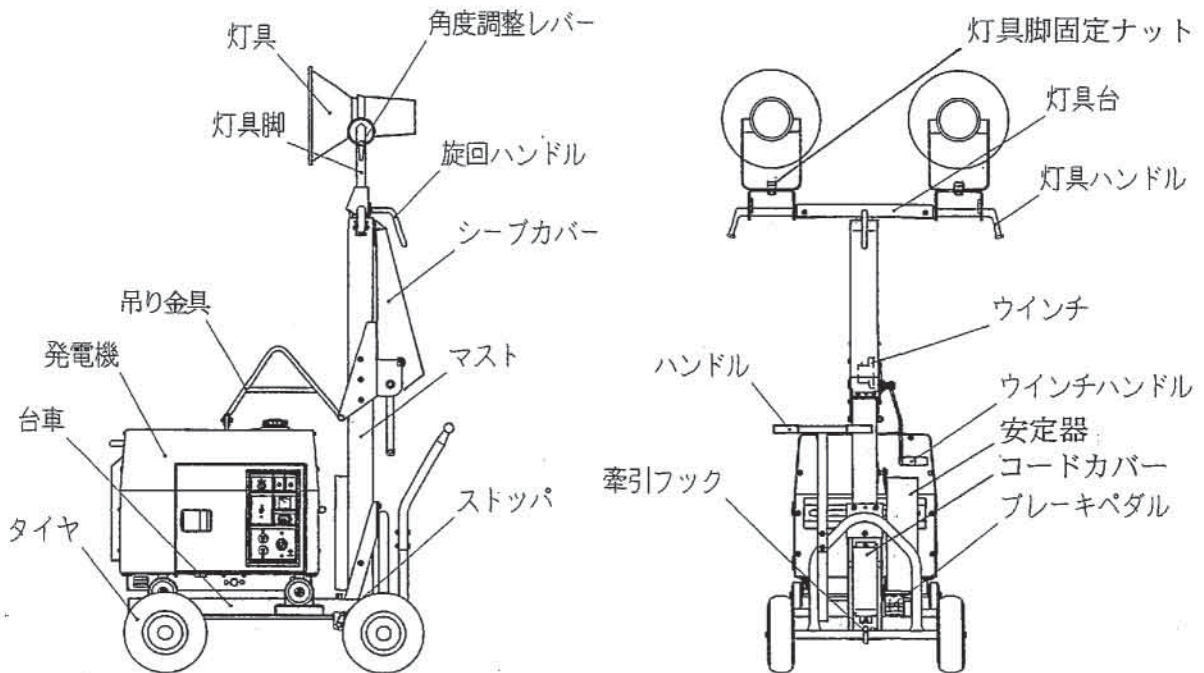
		型 式	SLH222EG	SLH432EG	SL222DG	SL432DG	
		仕 様	2 灯式	4 灯式	2 灯式	4 灯式	
		定 格 電 圧 (V)	130		100		
		定 格 周 波 数 (Hz)	450		50/60		
		定 格 消 費 電 力	860	1720	870	1740	
		適 応 電 灯 の 定 格 消 費 電 力 (W)	400×2	400×4	400×2	400×4	
		投 光 機 セ ャ ッ ト 乾 燥 質 量 (kg)	172	196	227	280	
投 光 機	ラ ン プ	種 類	メタルハライド				
		消費電力 (W)	400×2	400×4	400×2	400×4	
		全 光 束 (lm)	76,000	152,000	68,000	136,000	
	マ ス ト	段 数	2	3	2	3	
		材 質 (硬質アルミニウム)	1~2 段	1~3 段	1~2 段	1~3 段	
		昇 降 装 置	手動ウインチ				
		落 下 防 止 装 置	あり				
	台 車	タ イ ヤ	φ300 空気入り				
		ア ウ ト リ ガ ー	2	2	0	2	
	外 形 寸 法		作 業 時 高 さ (mm)	3,600~2,255	4,709~2,160	3,600~2,255	4,709~2,160
		収 納 時	全 長 (mm)	1,109	1,201	1,272	1,356
			全 幅 (mm)	1,070			
			全 高 (mm)	1,760	1,655	1,760	1,655
		乾 燥 質 量 (kg)	101	125	111	162	
		安 定 器 の 必 要 性	不要		要		
発 電 機		型 式	HEG20M/SLH		DG24MR/SL	DG30MR/SL	
		周 波 数 (Hz)	450		50/60		
		定 格 出 力 (kVA)	1.72		2.2/2.4	2.7/3.0	
		定 格 電 圧 (V)	130		100		
		燃 料 の 種 類	ガソリン		軽油		
		燃 料 タ ン ク 容 量 (L)	19		15		
		連 続 運 転 可 能 時 間 (時 間)	20.5	15	24/21	17/14	
		潤 滑 油 容 量 (L)	0.6		0.9		
		オ イ ル 警 告 灯	あり				
		始 動 方 式	セル・リコイル併用		セルスタート		
		乾 燥 質 量 (kg)	71		116	118	
		点 灯 時 騒 音 (dB/7m)	57	58	63/64	64/65	

### 3. 各部の名称

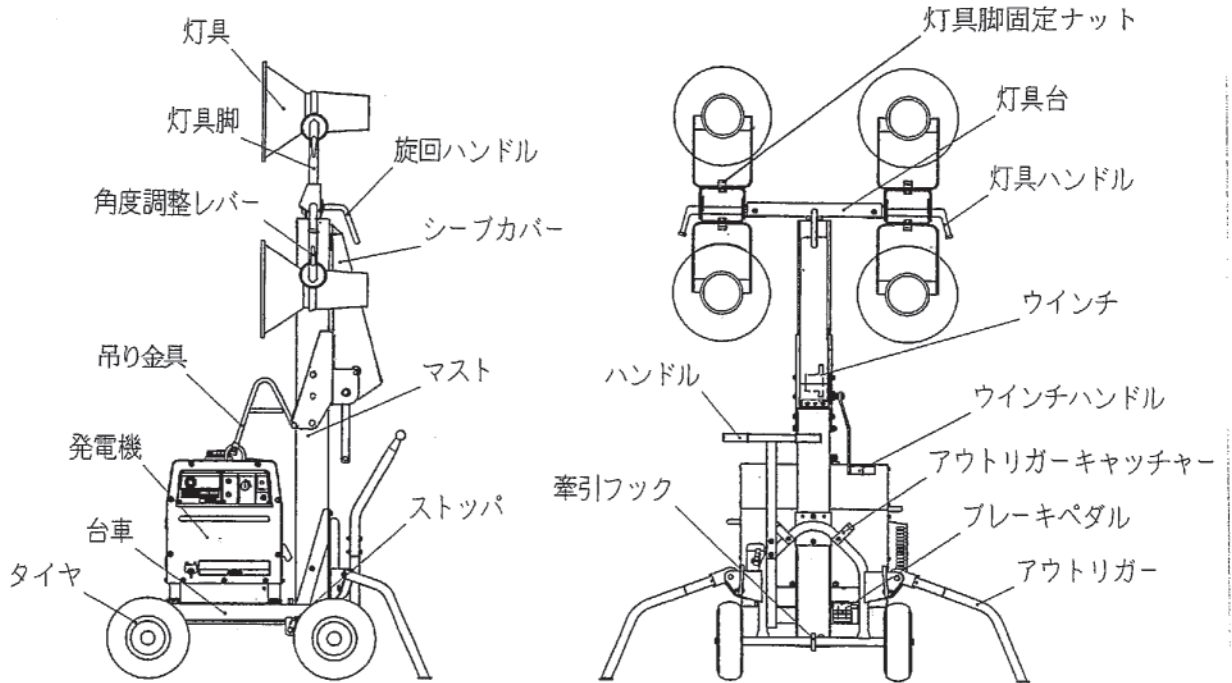
SLH222EG



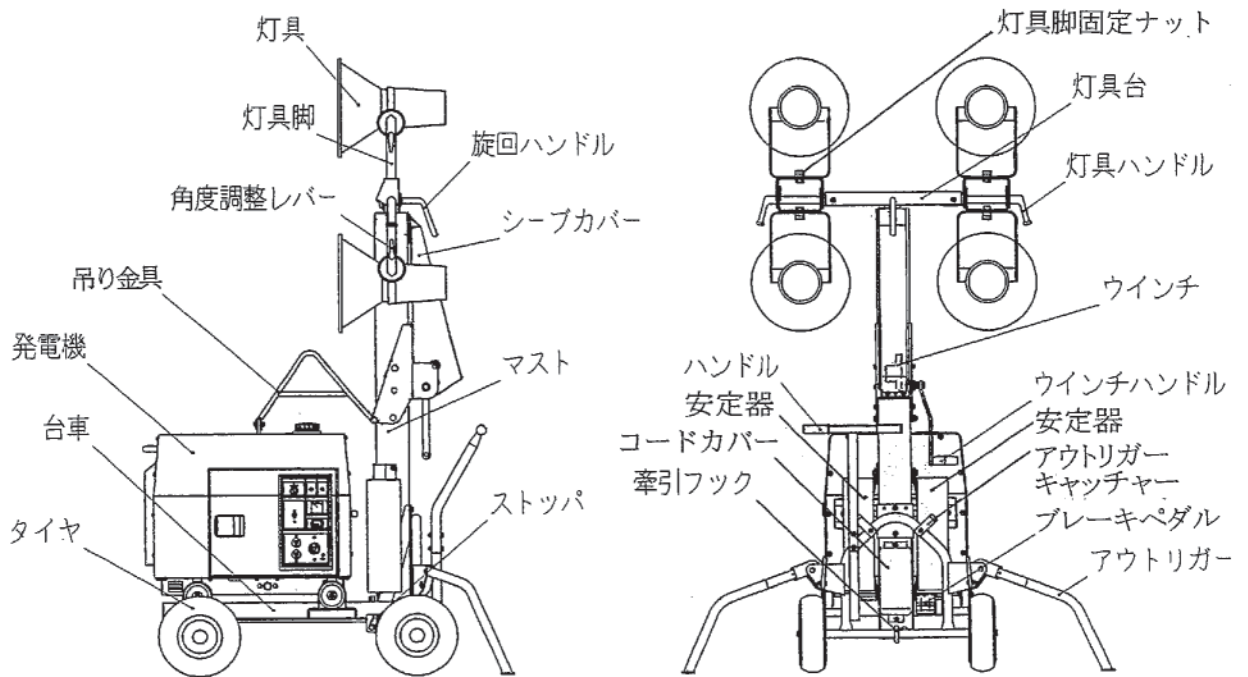
SL222DG-A, B



SLH432EG



SL432DG-A, B





## 4. 発電機搭載方法

この項は発電機を搭載する場合にお読みください。

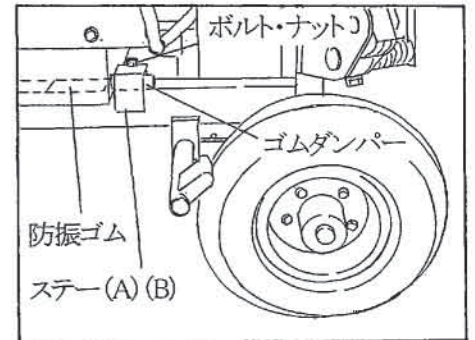
### 4-1. 発電機の搭載

#### (1) SLH222EG/SLH432EGの場合

##### <注意>

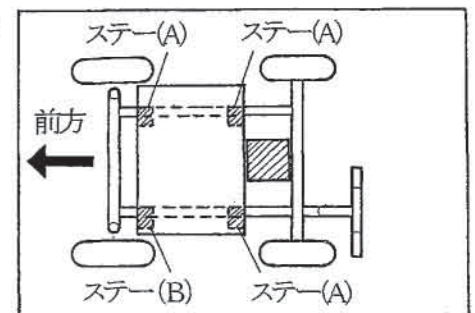
- 発電機は、HEG20M/SLHを使用してください。
- 安定器は、必要ありません。

- 1 車輪ブレーキを掛けます。  
(ブレーキの掛け方は「5-2. 車輪ブレーキ操作」の項を参照してください。)



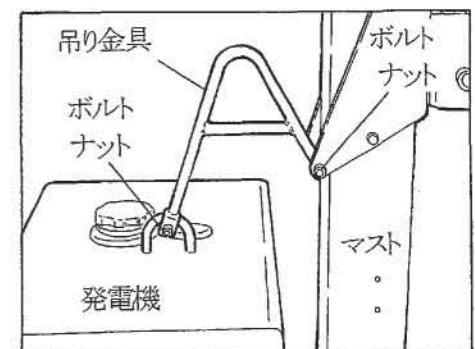
- 2 発電機と台車の上に防振ゴムを入れます。

- 3 発電機の固定用車軸にゴムダンパーを差し込みます。



- 4 発電機を台車の上に乗せ、発電機の固定用車軸をステア(A)・(B)とボルト・ナットで固定します。

- 5 マストと発電機を吊り金具・ボルト・ナットで固定します。



## (2) SL222DG/SL432DGの場合

### <注意>

●発電機は、安定器と同一周波数のものを使用してください。

●発電機は、次の出力のものを使用してください。

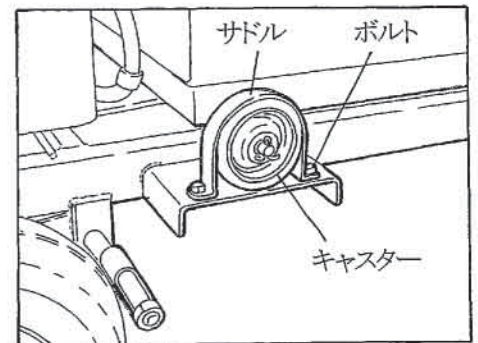
SL222DG…… 1. 7kVA以上

SL432DG…… 2. 7kVA以上

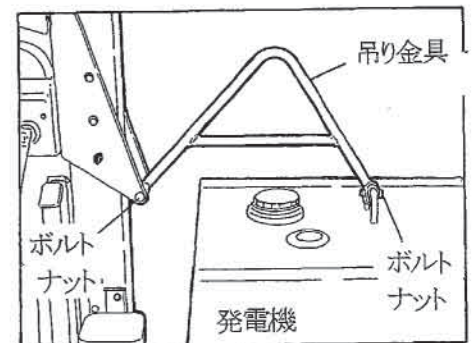
1 車輪ブレーキを掛けます。

(ブレーキの掛け方は「5-2. 車輪ブレーキ操作」の項を参照してください。)

2 発電機を台車の上に乗せ、発電機のキャスターをサドルとボルトで固定します。



3 マストと発電機を吊り金具・ボルト・ナットで固定します。



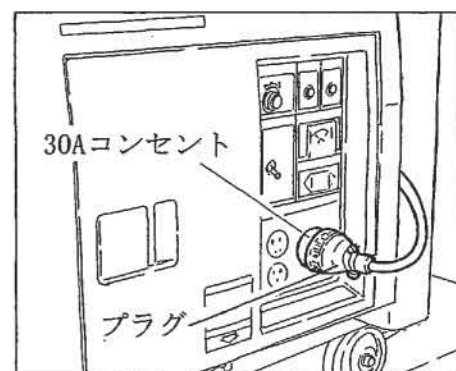
## 4-2. 電源ケーブルの接続

### (1) SLH222EG/SLH432EGの場合

- 投光機専用発電機 HEG20M/SLHの取扱説明書に従って行ってください。

### (2) SL222DG/SL432DGの場合

- 電源コードのプラグを発電機の30Aコンセントに差し込んでください。



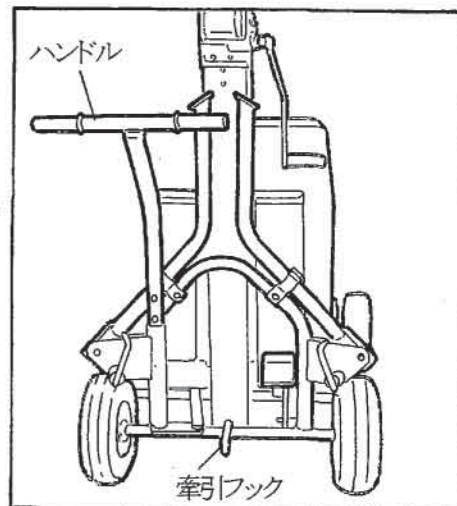
## 5. 操作方法

### 5-1. ハンドル操作

ハンドルを右に切ると右に回り、左に切ると左に回ります。

＜注意＞本機を牽引する場合は、必ず台車の牽引フックを使用してください。

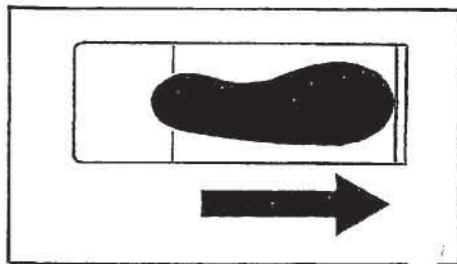
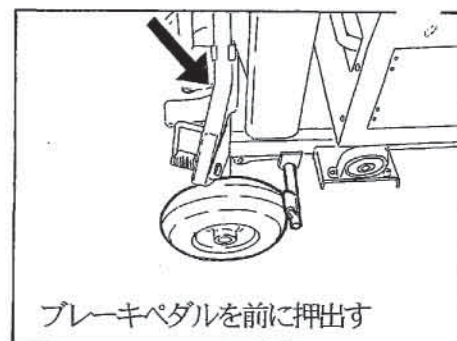
その他の部分を牽引に使用しないでください。変形・破損の原因となります。



### 5-2. 車輪ブレーキ操作

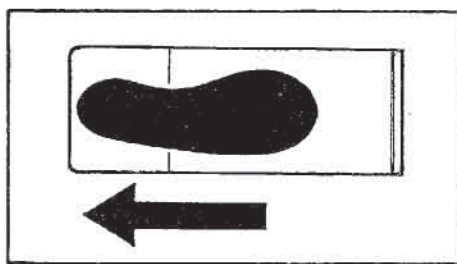
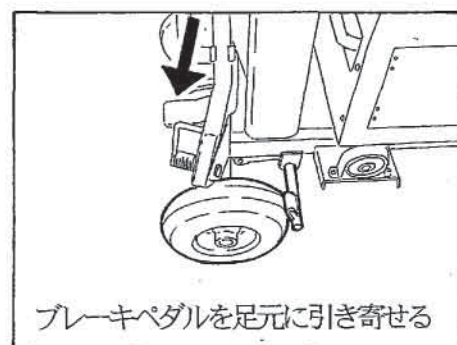
#### (1) ブレーキ解除

- ブレーキペダルを前に押し出すように踏み戻すと、ブレーキのロックが解除されます。



#### (2) ブレーキ作動

- ブレーキペダルを踏み込み足元に引き寄せると、車輪がロックしてブレーキがかかります。



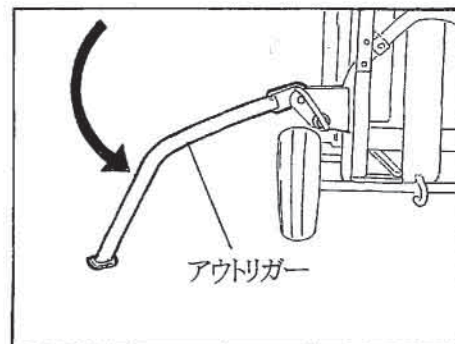
### 5-3. アウトリガー操作

#### ▲注意：けが

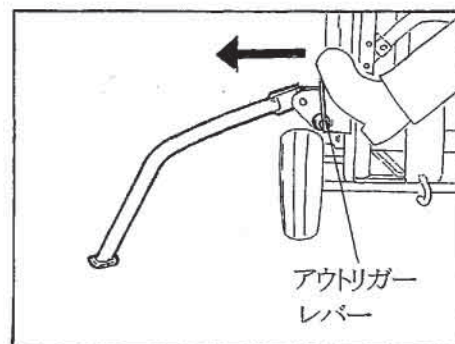
- アウトリガーの設置と収納は、必ずアウトリガーを片手で支えてから行ってください。

#### (1) アウトリガーの設置

- 1 アウトリガーを片手で支えて地面におろすと、アウトリガーは自動でロックします。

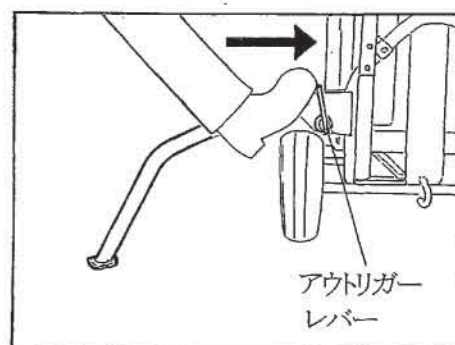


- <注意> アウトリガーのロックが不十分な場合は、アウトリガーレバーを外側に軽く踏み込んで、ロックを確認してください。

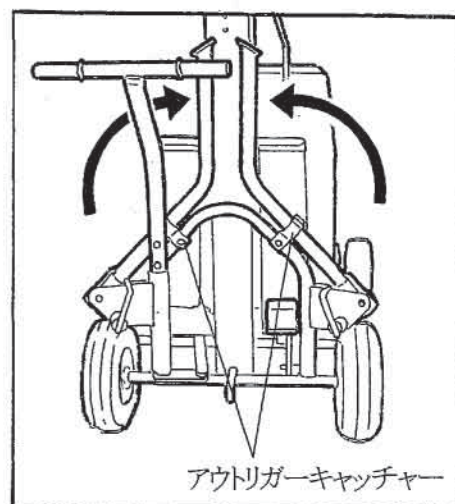


#### (2) アウトリガーの収納

- 1 ロックを解除する場合は、アウトリガーレバーをマスト側に踏み込み、アウトリガーを持ち上げてください。



- 2 アウトリガーをアウトリガーキャッチャーに収納してください。



## 5-4. 灯具および灯具台の操作

### ⚠危険

- 投光機をぬれた状態で操作すると漏電など故障につながるだけでなく、操作の際に感電するおそれがあります。

### ⚠注意：けが

- 灯具台を旋回する場合は、必ず灯具台または灯具脚を片手で支えてから行ってください。

### ⚠注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。
- 投光機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所に置いたり、操作しないでください。

### (1) 左右方向に投光向きを変える場合

#### 全灯同時の場合

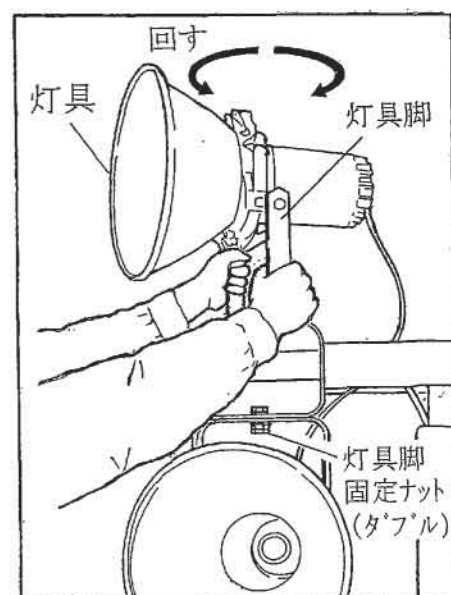
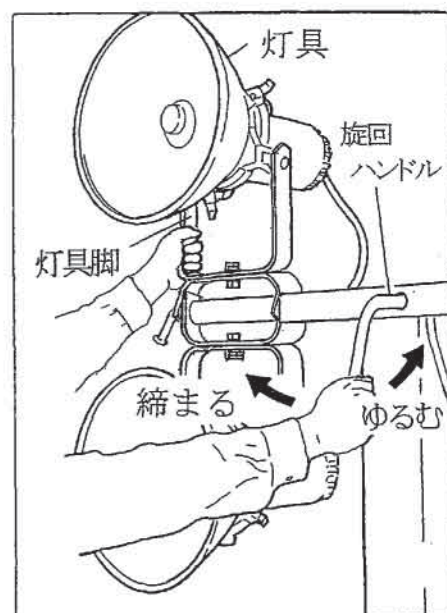
- 1 灯具脚を片手で支え、旋回ハンドルをゆるめます。
- 2 灯具を任意の向きにし、旋回ハンドルを締め付け固定します。

#### 各灯個別の場合

灯具脚を両手で持ち、任意の向きにしてください。(灯具脚固定ナットの締め付けは不要です)

<注意>万一灯具脚固定ナットがゆるんだ場合は、次の手順でナットを締め付けてください。

- ① ナット(皿バネに近い側)を手で締め込み、
- ② 手で回らなくなったらスパナ(対辺 27mm)を使用して 90° 締め込んでください。
- ③ ナット(皿バネに近い側)が回らないようスパナで固定したまま、もう一方のナット(皿バネから遠い側)を締め込み、灯具を固定してください。



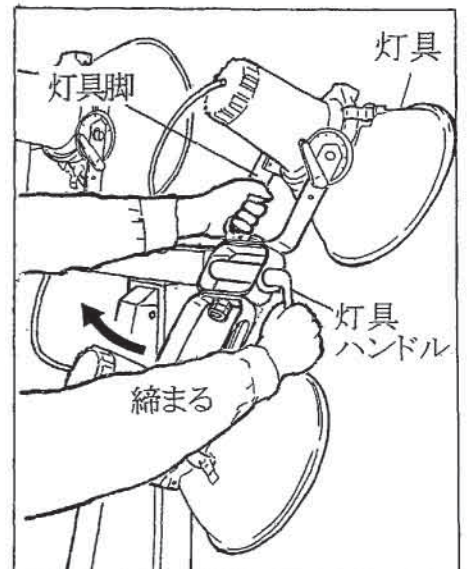
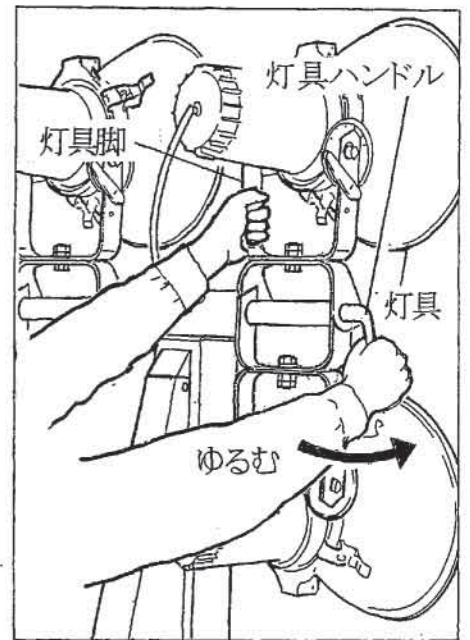
## (2) 上下方向に投光向きを変える場合

### 全灯の場合

＜注意＞右側、左側が別々に動きますので、個別に行なってください。

1 灯具脚を片手で支え、右（左）側の灯具ハンドルをゆるめます。

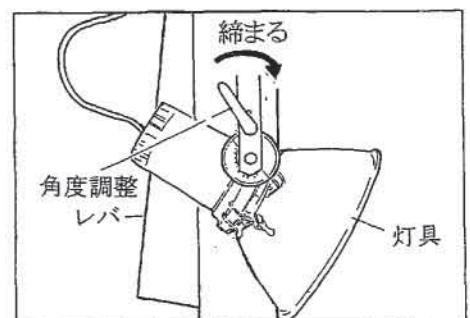
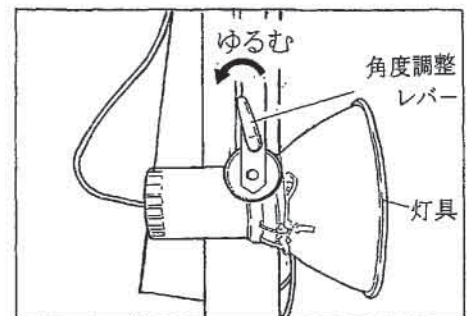
2 灯具脚を任意の向きにし、灯具ハンドルを締め付け固定します。



### 各灯個別の場合

1 角度調整レバーをゆるめます。

2 灯具を任意の向きにし、角度調整レバーを締め付け固定します。



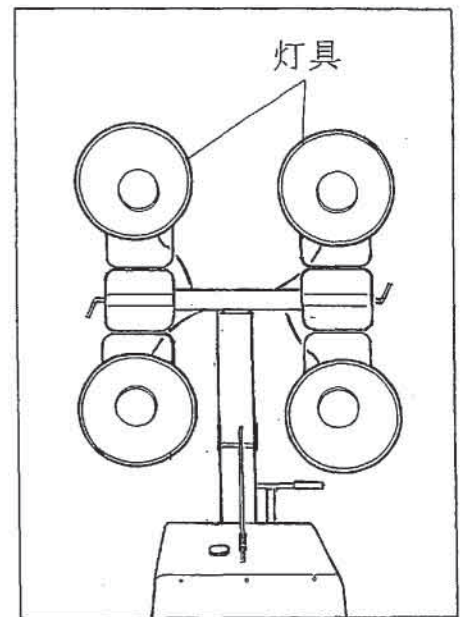
### (3) 移動・運搬時の灯具の収納

#### ⚠危険：転倒

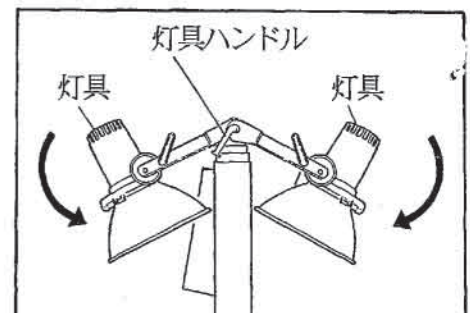
- 移動・運搬時は、必ずマストを最低位置まで下げてください。
- 車両運搬時は、必ず車輪ブレーキを掛け、ロープなどで確実に固定してください。
- 本機を吊り上げる時は、必ず吊り金具を使用してください。

<注意>車両運搬時は、ハンドルへのロープ掛けはしないでください。  
ハンドル破損の原因になります。

1 灯具を正面の向きにし、旋回ハンドルを締め付け固定します。



2 灯具を下向きにし、灯具ハンドルを締め付け固定します。





## 5-5. マストの昇降操作

### ▲注意：けが

- マストの昇降時は、マスト、ウインチドラム、ワイヤに触れないでください。

### <注意>

- マストが最高位置にくるとウインチハンドルの回転が重くなりますので、それ以上、無理な力を加えないでください。赤色の矢印ラベルが見える位置が、最高位置です。

(下図参照)

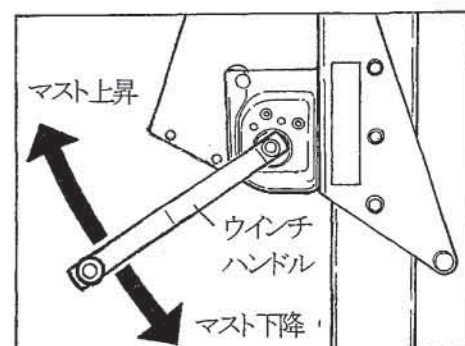
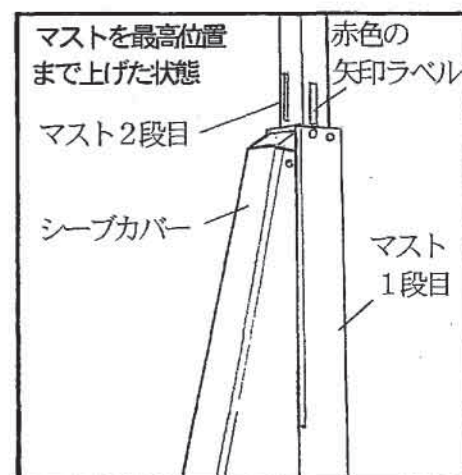
無理に回すとウインチ、ワイヤ、滑車部の故障や破損の原因となります。

- マストが最低位置を過ぎると、ウインチハンドルが動かなくなりますが、逆巻防止装置が働いているためです。無理にハンドルを回さないで下さい。
- ウインチドラムの側面にあるリングギヤの歯にグリスを塗ってください。グリスが切れるとウインチの寿命が低下します。

1 ウインチハンドルを回して、高さを調整してください。

●ハンドル右回転（時計回転） ⇒ マスト上昇

●ハンドル左回転（反時計回転） ⇒ マスト下降



## 6. 運転方法

### ⚠危険：転倒

- 強風で灯具が大きく揺れる場合は、マストを下げてください。
- 風速15 m/s以上（電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）では、絶対に使用しないでください。
- 傾斜地や地盤の軟弱な場所では使用しないでください。  
地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。
- 移動防止のため、必ず車輪ブレーキを掛けて使用してください。  
同時に車輪止めも行ってください。
- アウトリガーを装備している機種は、アウトリガーで本機を固定してください。  
この時、本機が水平になるよう調整してください。

### ⚠危険：感電

- 運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- ランプなど点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

※発電機については、**発電機の取扱説明書**をお読みください。

### 6-1. 点灯

1 発電機の始業前点検を行います。

2 車輪ブレーキを掛けます。

（アウトリガーを装備している機種は、アウトリガーで本機を固定してください。  
この時、本機が水平になるよう調整してください。）

3 灯具・灯具台の向きを調整します。

4 発電機を始動させ、ランプを点灯します。

5 灯具を任意の高さに合わせます。

**<注意>**

- ランプ消灯後に再点灯させるときは、約15分間待ち、ランプの温度が下がってからスイッチ（ブレーカー）を入れてください。  
すぐにスイッチ（ブレーカー）を入れると、本機が故障する原因となります。

## 6-2. 消灯

「点灯」の逆手順で行います。

- スイッチを入れたままで発電機の始動・停止をしないでください。
- スイッチを入れたままエンジンを停止させると、発電機がこわれる場合があります。

## 7. ランプの交換方法

### ◆危険：感電

- 運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- ランプなど点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

### ▲注意：けが

- マストの昇降時は、マスト、ウインチドラム、ワイヤに触れないでください。
- 灯具台の旋回で、旋回ハンドルをゆるめるときは、必ず灯具台または灯具脚を片手で支えてください。
- ランプを必要以上の力で締め付けしないでください。破損することがあります。

### ▲注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。

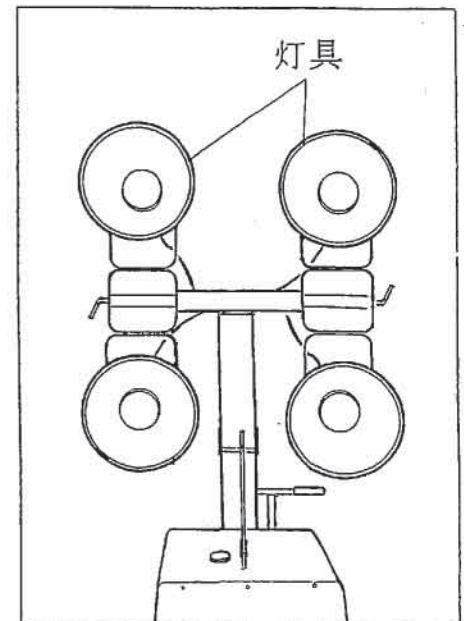
### <注意>

- ランプは、次の仕様のものをお使いください。

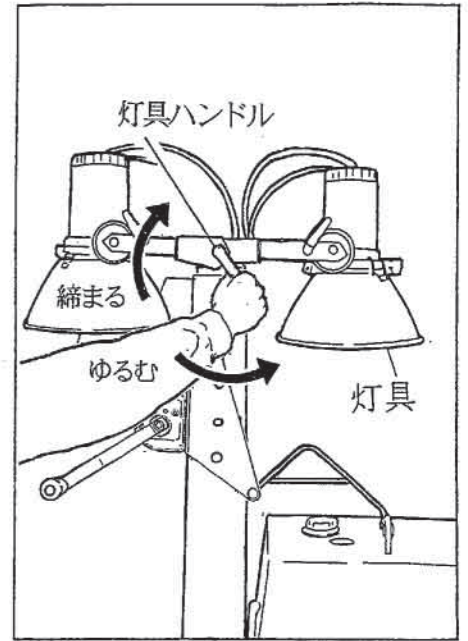
	SLH222EG SLH432EG	SL222DG SL432DG
ランプの種類	400WメタルハライドランプS形 (株)GS・ユアサライティング製 MF400・SC/BU	400Wメタルハライドランプ MF400・Lタイプ
	400W水銀灯	

注) 定格ランプ電圧130Vのものを使用してください。

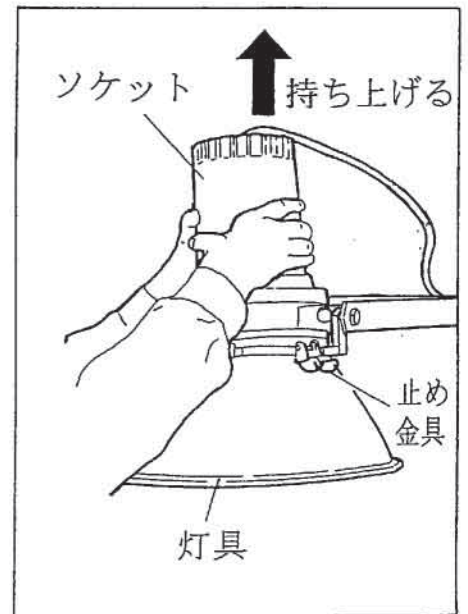
- 1 灯具を正面の向きにします。



2 灯具台を下向きにします。



3 灯具の止め金具をはずし、ソケットを真上に持ち上げてはずします。



4 ランプを左に回し、ソケットから取りはずします。



5 ランプ交換後、逆手順で取り付けます。

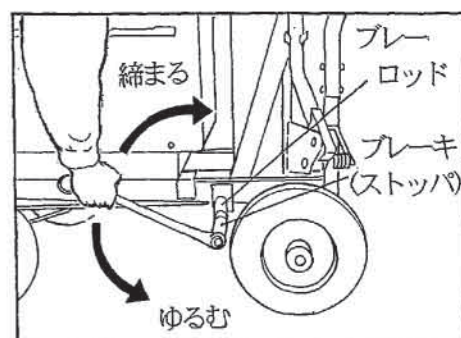
## 8. ブレーキの角度調整

### ⚠危険：転倒

- ブレーキ（ストッパ）のかかりが悪い場合、ブレーキの角度調整を行ってください。
- 傾斜地や地盤の軟弱な場所では作業しないでください。
- 地盤のしっかりした水平な場所で作業してください。
- 移動防止のため、必ず車輪に車輪止めを行ってください。
- 作業時は、必ずマストを最低位置まで下げてください。

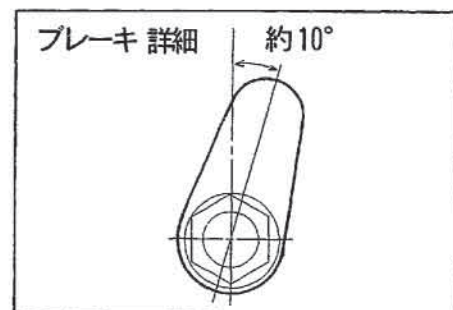
1 車輪ブレーキを解除します。  
(ブレーキの解除は「5-2. 車輪ブレーキ操作」  
の項を参照してください。)

2 ブレーキロッド左右のナットをゆるめます。



3 ブレーキ（ストッパ）の角度を真上より前方へ約  
10度の角度にします。

4 ブレーキロッド左右のナットを締め込んでブレーキ  
（ストッパ）を固定します。



5 タイヤの空気圧を、2.0~2.5kgf/cm<sup>2</sup>に設定してく  
ださい。(空気圧が低いと、ブレーキの効きが悪く  
なり危険です)

## 9. 点検・整備

### ◆危険：感電

●点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

### ▲注意：やけど

●ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。

本機を常に良好な状態で使用できるよう次の表に従って定期的に点検・整備を行ってください。  
本表の説明図・イラストを、次ページに示します。(23～25 ページ)

※発電機については、**発電機の取扱説明書**をお読みください。

〈注意〉始業前点検以外は、専門技術者が行ってください。

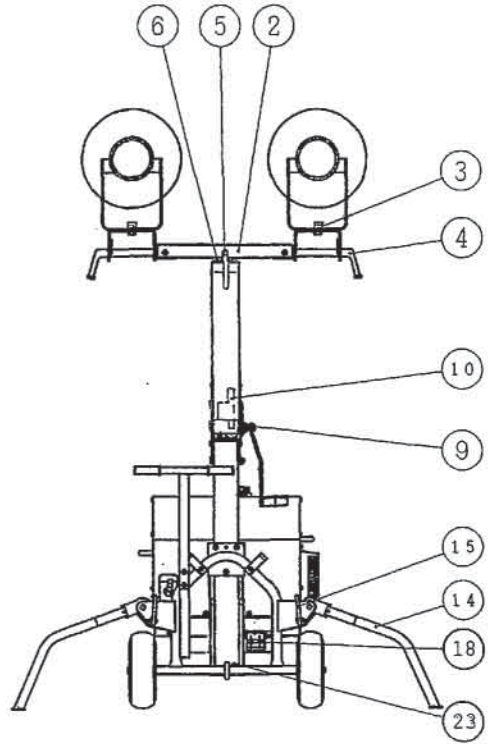
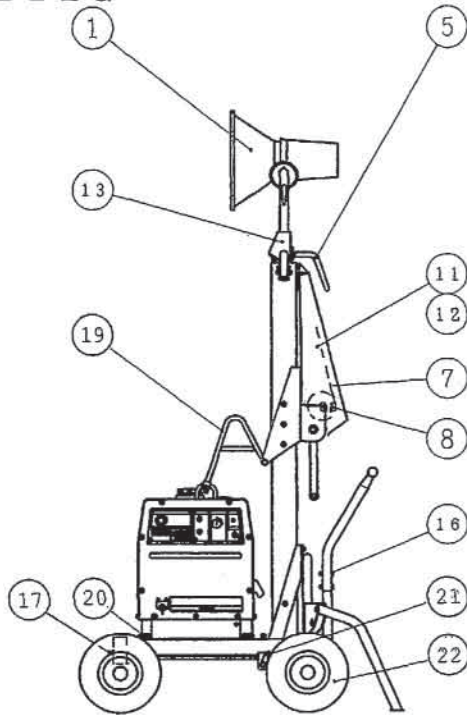
	No.	点検箇所	点検時期	点検内容	処置
ランプ	1	ランプ (灯具)	○	ゆるみはないか?	確実に締め込む
	2	カプラー端子	△	はずれたり、はずれかかっているか?	確実に接続する
	3	灯具脚固定ナット	○	ゆるみはないか?	確実に締め付ける
	4	灯具ハンドル	○	ゆるみはないか?	確実に締め付ける
	5	旋回ハンドル	○	ゆるみはないか?	確実に締め付ける
マスト	6	マスト摺動面	□	動きが渋くなってないか?	グリス塗布
	7	ワイヤ	○	折れ曲がりやささくれなどが無いか?	要交換
	8	ワイヤ末端	△	ワイヤ末端の固定用ボルトがゆるんでないか?	確実に締め付ける
	9	ウインチ	○	ブレーキが効くか?	要修理
	10	ウインチ	△	ドラム側面のリングギヤにグリスがあるか?	モリHDグリス塗布
	11	落下防止装置	○	ワイヤをゆるめて落下防止ピンが作動するか?	要修理
	12	シーブ (滑車)	△	滑車はスムーズに動くか?	モリHDグリス、及びスプレーグリス塗布
	13	灯具台	△	灯具台が左右に軽く旋回できるか?	モリHDグリス塗布
台車	14	アウトリガー	△	アウトリガーは軽く動くか?	モリHDグリス塗布
	15	アウトリガーレバー	△	アウトリガーレバーは軽く動くか?	モリHDグリス塗布
	16	ハンドル固定ボルト	△	ゆるみはないか?	確実に締め付ける
	17	前輪操舵軸	□	ハンドル操作はスムーズにできるか?	モリHDグリス注入
	18	ペダル	○	軽く動くか?	モリHDグリス塗布
	19	吊り金具	△	ボルト、ナットがゆるんでないか?	確実に締め付ける
	20	発電機のベース固定	△	ボルト、ナットがゆるんでないか?	確実に締め付ける
	21	ブレーキ (ストッパ)	○	効きは良いか?	要修理又は角度調整
	22	タイヤ	○	空気圧は適正か	空気を入れる
電装	23	電源ケーブル	○	線がむき出しになっていないか?	要交換

始業前点検：○

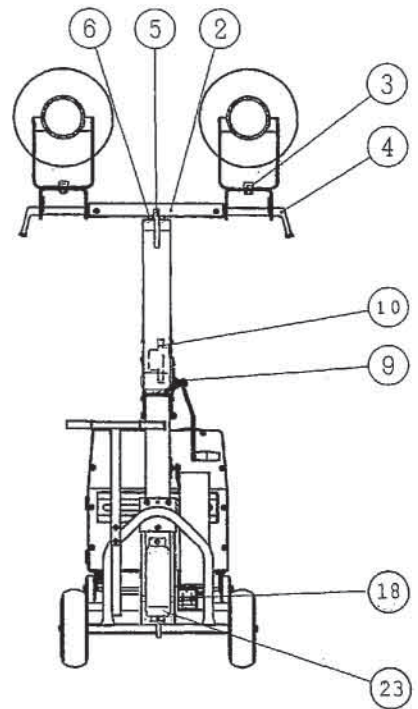
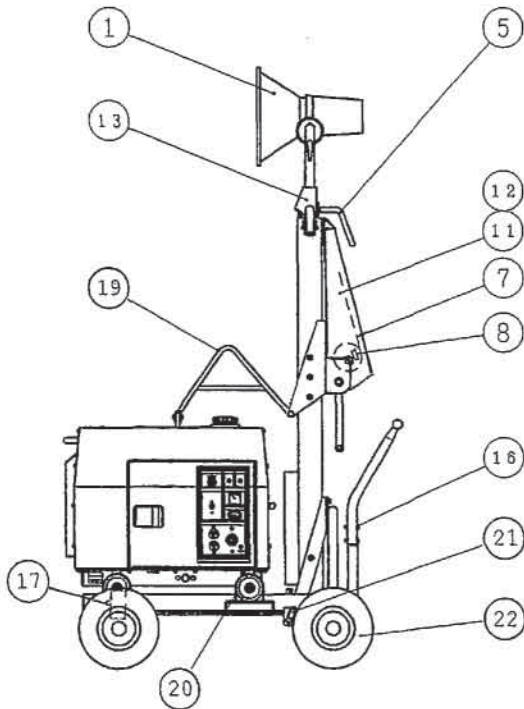
100時間ごと：△

200時間ごと：□

SLH222EG

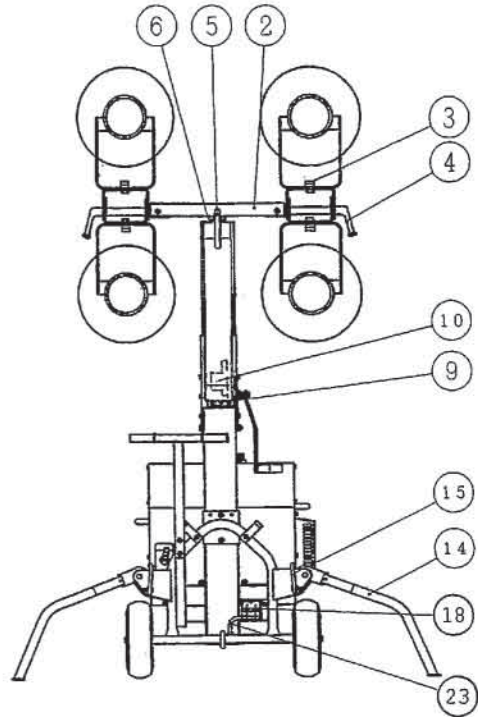
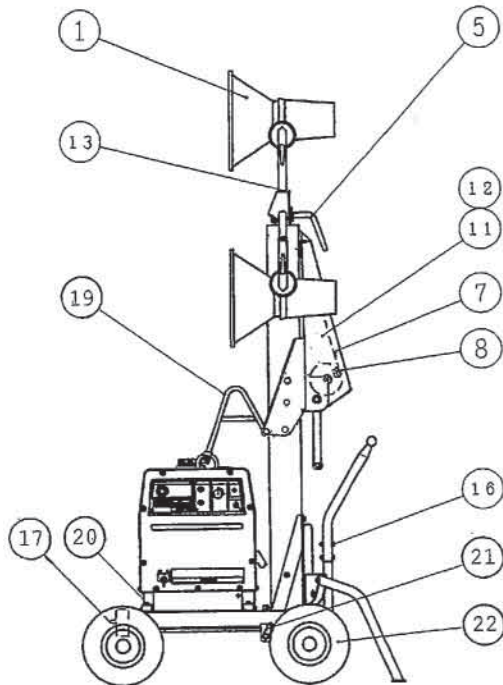


SL222DG

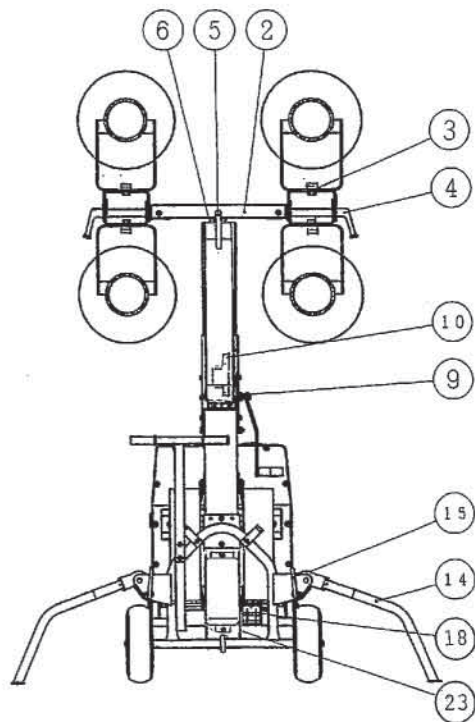
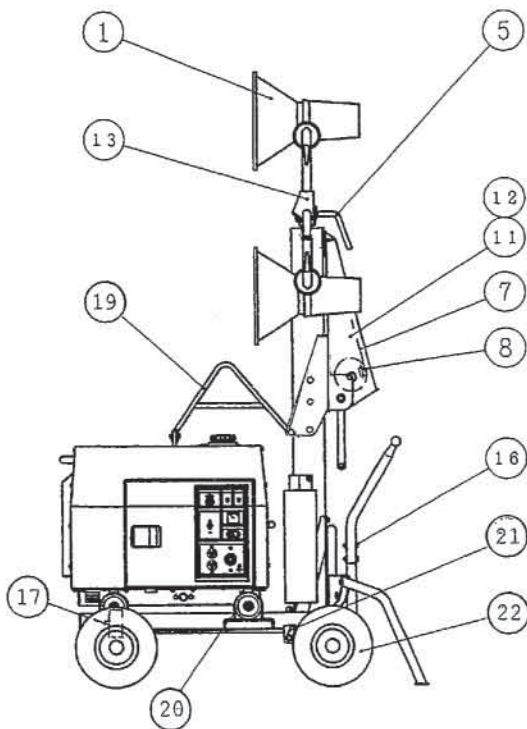




SLH432EG

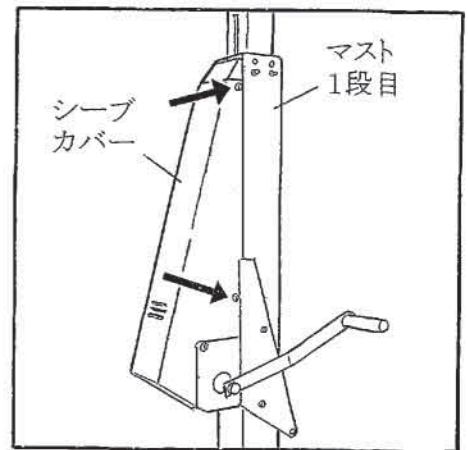


SL432DG

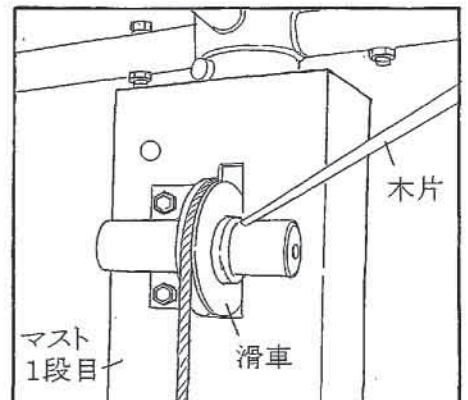


■シーブ（滑車）へのグリス塗布位置

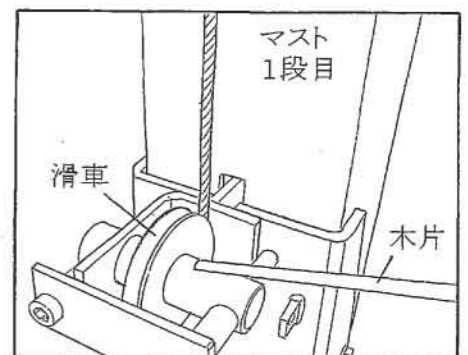
●ボルトをゆるめ、シーブカバーをはずす。  
（右図矢印。左右2箇所）



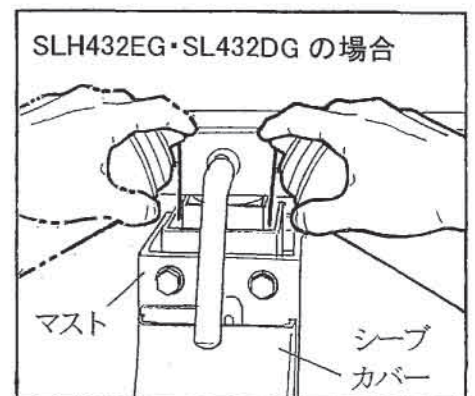
●上側の滑車と固定軸の接触部分に、木片等で弊社の純正グリス（モリHDグリス）を塗布してください。（右図）



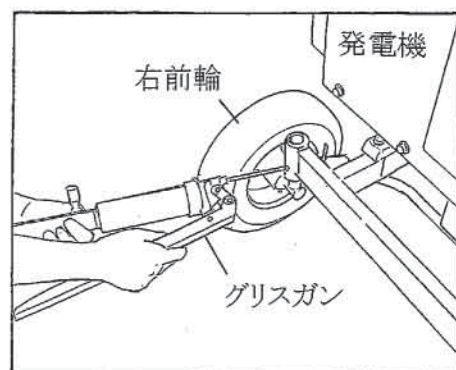
●同様に、下側の滑車と固定軸の接触部分にも弊社純正グリス（モリHDグリス）を塗布してください。（右図。滑車の両側に塗布します）



●3段マスト型投光機（SLH432EG・SL432DG）の場合、2段と3段マストの間にも滑車がありますので、上からスプレーグリスを塗布してください。（右図。左右各一箇所）



- 台車前側の前輪操舵軸取付部に、グリスガンを使用して弊社純正グリス（モリHDグリス）を注入してください。（右図。左右各一箇所）



## 10. 長期保管

### ⚠危険：感電

- 整備を行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。

### ⚠注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。

※ 本機を2ヶ月以上使用しない時は、次の手順に従って整備を行ってください。

- 1 泥や汚れを落とし、グリスアップを行います。
- 2 マストを完全に下げ、ワイヤの張りをゆるめます。
- 3 灯具を収納します。（5-4. 灯具および灯具台操作の項を参照）
- 4 車輪ブレーキを掛けます。
- 5 発電機の取扱説明書に従い整備します。

## 11. 故障時の対応

### ⚠危険：感電

- 運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 必ずエンジンを停止して行ってください。

### ⚠注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプや灯具が高温になっていますので触れないでください。

本機の調子が悪い時は、次の表に従って点検してください。

点検しても正常にならないときは、お求めの販売店か弊社営業所に修理を申しつけてください。

症 状	推 定 原 因	処 置
ランプが点灯しない	スイッチ（ブレーカー）が「OFF」	スイッチ（ブレーカー）を「ON」にする
	ランプが熱いうちに再点灯しようとしている	ランプが十分冷えるまで待つ（消灯後約15分）
	ランプが安定器と適合していない	適合ランプに交換する
	ランプがゆるんでいる	ランプを確実に締め込む
	ランプの寿命・劣化	ランプを交換する
マストが上がらない	マストの動きが渋くなっている	摺動面にグリスを塗布する
	滑車の動きが渋くなっている	滑車にスプレーグリスを塗布する
	マスト間に異物が入った	要修理
マストを上げてもすぐに下がる	ウインチのブレーキが効いていない	要修理
マストが下がらない	マストの動きが渋くなっている	摺動面にグリスを塗布する
	落下防止装置が誤作動している	ウインチを少し巻き上げマストに力を掛けながらゆっくり下げる（要修理）
	マスト間に異物が入った	要修理







# 株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2    Tel 0428-32-6181

## やまびこ産業機械株式会社

〒 731-3167 広島市安佐南区大塚西6-2-11    Tel 082-849-2005 (代)

## やまびこ北海道株式会社

〒 004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20    Tel 011-891-2249 (代)

## やまびこ東北株式会社

〒 984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50    Tel 022-288-0511 (代)

## やまびこ東部株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2    Tel 0428-32-1091 (代)

## やまびこ中部株式会社

〒 452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39    Tel 052-502-4111 (代)

## やまびこ西部株式会社

〒 701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159    Tel 086-296-5911 (代)

## やまびこ九州株式会社

〒 816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7    Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。